|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | 臨床判断(変化への気づきと判断) | 単位数 | １単位 | 時間数 | 15時間 |
| 担 当 者 | 中山　美加(臨床経験5年) | 学　年 | １学年 | 開講年次 | 2学期 |
| 目的 | 肝硬変の事例を用いて、病態の変化に気づき、何が起こっているのか考えられるよう、共同学習（TBL）を通して看護を導く臨床判断の基礎的能力を養う |
| 科目目標 | 1. 消化器の正常な構造と機能から肝硬変の病態へと変化する病因と症状出現のメカニズムが理解できる。
2. 肝硬変の病態と症状と検査の関連、肝硬変の病気と症状と治療の関連について理解できる。
3. 臨床判断のプロセスを学ぶことによって、どのように反応し、行動していくのか考えることができる。
 |
| 回数 | 授業計画・授業内容 | 方法 |
| 1回2～6回7回8回 | １．肝臓の正常な構造と機能　１）肝臓の構造と機能　２）肝臓の代謝機能２．肝臓の病態の理解（肝硬変患者の事例）　１）病因は正常な機能に及ぼす影響２）病因と検査との関係　　（１）血液検査（２）画像検査　３）肝硬変の症状３．体の変化に合わせて考える（代償期）　１）代償期の症状と治療の関係４．体の変化に合わせて考える（非代償期）　１）非代償期の症状と治療の関係５．体の変化に合わせて考える（肝不全）　１）肝不全の症状と治療の関係６．体に起こっていることの理解と判断７．試験・まとめ（45分） | 講義・TBL学習講義・TBL学習発表 |
| 准看時授業内容 | 臨床看護概論 |
| 教科書参考書 | 教科書：『系統看護学講座　専門基礎　人体の構造と機能〔1〕解剖生理学』医学書院『系統看護学講座　専門分野　成人看護学〔5〕消化器』医学書院 |
| 評価方法 | 出席状況、ポストテスト5点×6回（30％）、発表（10％）、課題（30％）、試験（30％） |
| 関連科目 | 解剖生理学、病態生理・病理学、疾病と治療Ⅱ、薬理学、栄養学 |
| 備考 | 「なんでだろう」という気付きを大切にして、看護実践していく上で判断について学んでください。 |